

様式(細則 5-2)

平成28年8月31日

浜田市議会議長 西田清久様

議員名 芦谷英夫



## 調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため研修等を行ったので、その結果を報告します。

### 記

- 1、期 間 平成28年8月25日(金)
- 2、研修内容 琴浦町における認知症予防の取り組み
- 3、研 修 先 鳥取県琴浦町(成美公民館)
- 4、調査経費 浜田駅⇒赤崎駅⇒浜田駅(JR線利用)  
JR線 6,500円  
タクシー代 2,000円  
計 8,500円
- 5、調査研究活動の概要

別紙のとおり



## 琴浦町行政視察

平成28年8月31日

- 日時 平成28年8月25日（金）10時～11時30分
- 場所 琴浦町（成美公民館）
- 内容 琴浦町における認知症予防の取り組み～介護予防教室「はればれ」の見学  
説明＝琴浦町福祉あんしん課 地域包括支援センター 丸山保健師

### ○概要

- ① 認知症予防教室として、公民館に介護のおそれのあるおよそ10人ほどの高齢者が集まり、指導員の指導のもと、ゲーム感覚での手と指の運動、各人のお盆の過ごしたことの話、本の音読、体操などのメニューをこなす。
- ② 琴浦町では、ひらめきはつらつ教室として、タッチパネル式コンピューターによるもの忘れ相談、2次検査TDA S検査によって、認知症への理解と早期発見につなげ、介護の必要のおそれのある人を抽出し、①の例のような段階に応じて認知症予防教室、介護予防教室、認知症専門医によるもの忘れ相談などを体系的に実施している。
- ③ 元気高齢者を増やすための運動機能向上、認知症対策、活動の場や交流の場を増やすための高齢者サークル活動なども行っている。
- ④ 成果として、認知症予防の早期発見治療が大切であると周知され、地域包括支援センターの相談が早い段階から寄せられるようになったこと、認知症に対する偏見の意識があり住民の認知症に対する理解と事業への協力が必要であること、教室などの取り組みにより介護保険への移行を防ぎ自立重度化の予防が期待できること、などがあげられている。

### ○所見（浜田市での推進の視点）

- ① 琴浦町は、鳥取大学医学部浦上克哉教授の指導のもと取り組んでおり、浜田市でも体系的専門的な支援などの体制づくりが必要である。浦上克哉教授は浜田市で「認知症への正しい理解と効果的な予防」と題する講演をされており、テレビの「あさいち」「チョイス」「みんなの家庭の医学」「主治医が見つかる診療所」などにも出演されている。
- ② 琴浦町では「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」から「認知症予防ができるまちづくり」を進めるとし、認知症政策に対する明確な方針を掲げており、浜田市でも参考とする必要がある。
- ③ 浜田市では、認知症地域支援推進員、認知症カフェ、認知症初期集中支援チーム、サロンコーディネーター設置、生活支援コーディネーター設置などにより認知症対策を進めているが、その成果や今後の課題など改めての検証が必要である。
- ④ 地域に目をやると、ミニディサービス、サロン活動、すこやか員、保健委員、食生活改善推進委員などのネットワークづくり、認知症予防、介護予防を進めるための顔の見える地域での「四六時中三六五日」体制づくりが必要である。
- ⑤ まちづくり総合交付金により、地域での高齢者福祉活動を進めるとされており交付金の充実、あわせて介護保険の地域支援事業費の自治組織への交付なども検討し、地域での細やかな予防事業を進める仕組みが必要である。 —以上—